



なはセン通信

Vol. 63



なは市民活動支援センター
(那覇市民文化部まちづくり協働推進課)
〒900-0004 那覇市銘町 2-3-1
なは市民協働プラザ 2階
(2021年8月発行)



新型コロナウイルス感染症対応チャレンジ助成事業 学生のかで「コロナに負けない活動」

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためにあらゆる活動に制限が設けられ、その影響は経済活動のみならず、学生を中心とした若者たちの生活態にも影響を及ぼしています。

10代後半～20代前半の1年間で経験する事はその先の人生にも影響を与えと言われる中「コロナに負けない」というキーワードで、新たな活動を始めた学生達がいる事を伝えたく、当センターのチャレンジ助成事業を活用し頑張っている2つの団体「VONS」と「Real」に取材をさせていただきました。

それぞれがコロナ禍において「何が出来るか」「何が必要か」を考え実行に移した若者らしい行動力やチームワークに関心と共に学びを得ることができました。



VONS (令和2年度交付団体)の平敷さん、屋嘉部さん
Real (令和3年度交付団体)の平良さん、天顔さんとの初顔合わせでしたが、それぞれの活動に繋る事ができました。

●活動内容とメンバー構成を教えてください。

・Vons=以下 (V)

昨年度からスタートしましたが、県内各地でイベントの様な形でフードドライブを行い、提供頂いた食品は、困窮者支援団体さんや各地の社会福祉協議会さんにお渡ししています。現メンバーは琉球大学の学生を中心に高校生もボランティアとして参加しています。



・Real=以下 (R)

大学生として知りたい事や後輩に伝えたい事など、学生目線で情報を収集して発信したいという思いから「フリーマガジン発行」という活動を始めました。沖縄国際大学の学生を中心に、琉球大学など別大学の学生も一緒にページごとの担当を設けて6人で活動しています。

8月中には第1号が刷り上がり設置いただける所に伺う予定です。

●始めたきっかけは教えてください。

・(V) 昨年、コロナの影響で海外留学している学生は帰国を余儀なくされ、前代表も留学先から帰国させられました。コロナで先行きが見えなくなった時に「学生でもできることはないか」と友人同士で話しをした際に、留学先の教会で行われていた「フードネイション」を思い出し、仲間を集めたことがきっかけです。

先生や保護者の力を借りて「フードドライブ」を実施することが出来ました。

・(R) 社会人の生活について、学生のうちに知りたい事があっても誰に聞いたらいいかわからない。と感じていました。それがコロナの影響でインターンシップや先輩を通じて企業訪問も出来なくなり、学校側も対策に追われていて、仕方のない事ですが「自分の頑張りたい場所が、コロナに奪われた」と悲観的になっていました。…が、それなら「自分の為に後輩たちの為に…」と思ったことがきっかけです。

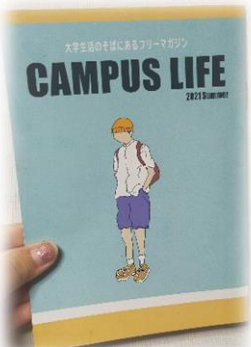


●今後はどのような展開を期待していますか？

・(V) 県内の高校生が中心となり学校単位で「フードドライブ」が行われているという情報を聞き、嬉しく思います。今後は特別ではなく当たり前になって欲しいと思います。

・(R) まずは色々なことに挑戦している学生をどんどん紹介していきたい。読者の対象としている学生自身が何かを感じとって一緒に盛り上がってほしいです。

他に学生という立場で、先輩方や企業の方からお話を伺って学生達の将来のヒントとなるような、学生が手に取りたくなるようなフリーマガジンにしていきたいと思います。





那覇100年「協働シンポジウム」 ～コロナ禍の今 那覇の協働をふり返り これからをえがく～ 開催延期について

那覇市制100周年を迎え、8月9日に予定しておりました。「那覇100年協働シンポジウム」についてですが、県内における新型コロナウイルス感染症が拡大している現状から、下記の通り開催を延期する事が決定しました。

【開催日時】 2021年8月9日(月・祝日) 15:00～17:30
→ 2021年9月7日(火) 18:30～21:00

【会場】 那覇市IT創造館1階 大会議室(+ZOOM)
【定員】 会場入場(20名) オンライン参加(80名)
【内容】 プログラム① 櫻井常矢氏基調講演

『那覇の協働をあらためて考えるその始まりにあたって』

櫻井常矢氏(高崎経済大学 地域政策学部 地域づくり学科教授)

プログラム② パネルディスカッション

パネリスト 櫻井常矢氏(高崎経済大学 地域づくり学科教授)

糸数未希氏(NPO法人 にじのはしファンド代表)

饒波正博氏(与儀小学校区まちづくり協議会代表代行)

前原信達氏(銘苅新都心自治会 会長)

屋比久尚也氏(那覇市監査事務局 副参事)

【申込について】 8/6時点でお申込み頂いている方につきましては継続いたしますが、日時の変更により参加の厳しい方はお手数ですが、シンポジウム事務局(NPO法人まちなか研究所わくわく office@machiwaku.com)まで、ご連絡くださいますようお願いいたします。

那覇100年 協働シンポジウム
コロナ禍の今
那覇の協働をふり返り
これからをえがく
ひとりひとりにとって、
住みよい地域となるため
今後のまちづくりを考える

基調講演
那覇の協働をあらためて考える
その始まりにあたって
講師 櫻井常矢氏(高崎経済大学地域政策学部 地域づくり学科教授)
NPO法人まちなか研究所わくわく
協働コーディネーター

パネルディスカッション
・糸数未希氏(NPO法人 にじのはしファンド代表)
・饒波正博氏(与儀小学校区まちづくり協議会 代表代行)
・前原信達氏(銘苅新都心自治会 会長)
・屋比久尚也氏(那覇市監査事務局 副参事)

開催延期
延期日程
9月7日(火)
18:30～21:00

目的 2021年 8月9日(月・祝日)開催
会場 那覇市IT創造館大会議室(※ZOOM)又はオンライン参加(※ZOOM)
※ZOOMはPC・スマートフォン・タブレットのいずれかで参加可能となります
申込方法 本日のQRコード、下記URLの申込フォームより申し込みください。
※オンライン参加の場合は、登録費・送料は別途お支払いとなります。
申込締切 申込締切(先着) 9月3日(金)
https://forms.gle/9a5d4p9yU20zX9X
お問い合わせ先 NPO法人まちなか研究所わくわく TEL 098-861-1469
office@machiwaku.com

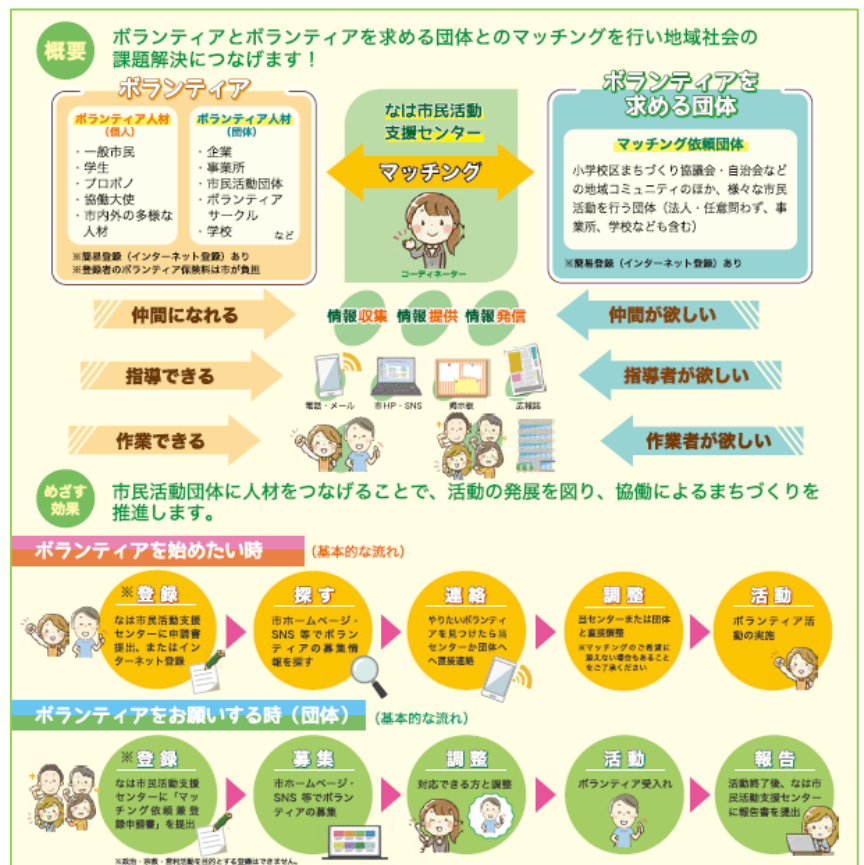


申込入力フォーム。

那覇市人材データバンク事業

那覇市人材データバンク事業では「ボランティアを求める団体」と「ボランティアを行いたい方(団体)」とのマッチングを行っております。コロナ禍において、ボランティアの内容や活動方法がこれまでと異なってきており、また、感染症対策のため活動に制限も発生し、コロナに対応した活動方法を模索する団体も多く、我々もマッチングだけでなく相談事業と合わせて支援させていただいております。

ボランティアマッチングに関心をお持ちの方(団体)は、どうぞお気軽にお問い合わせください。



ボランティアや活動に役立つ書籍も貸し出しています。





コロナ禍で発生した「市民活動の運営に関する困りごと」について

Q. コロナ禍で「集まらない総会（理事会）」について

NPO 法人だが、緊急事態宣言の中、多人数が集まって総会を行うことは適切ではないという意見もあり、どのように実施したら良いかわからない。

①『定款の確認』

まずは、法人の定款の【総会】や【理事会】、【会議】の章にある「表決権」の項目を確認
→「やむを得ない理由により総会（理事会）に出席できない正会員（理事）は…」という文言のある項目がないか。
実際に出席できない場合は、上記文言のあとに記載されている表決方法を実施する事が可能です。

②『みなし総会』

NPO 法で定められた「みなし総会決議」の実施
→議決権を持つ正会員が、書面またはメール等で決議事項に対する全員の同意があれば、実際に集まらなくても「総会の決議があったとみなす」というものです。すべての正会員と連絡の取れる小規模な法人に向いています。

③『最小人数で開催』

最小の人数だけ集まり、他はオンラインでの参加や、書面やメールで表決する
→定款の「定足数」が満たされれば、実際にひとつの会場に集まるのは議長、議事録署名人、オンラインでの参加の難しい者のみとし、他はオンライン参加と、書面やメール等で表決するというものです。

④『オンラインで開催』

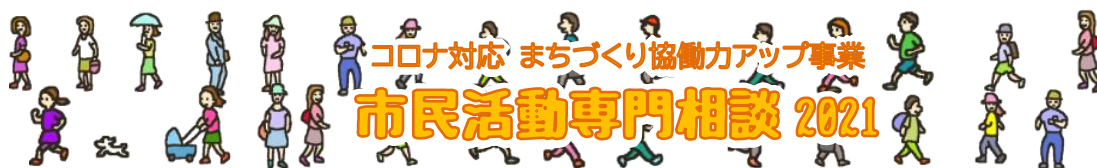
実際上の会議と同等の環境が整備された状態での実施
→定款に「ウェブ会議等での参加」などの記載がなくても、一部または全員がオンラインで参加することで実際に集まらなくても総会を開催した事と認められます。ただし「情報伝達の双方向性、即時性のある設備・環境（参加者が発言したい時に発言でき、他の参加者はその場で聞ける）」という環境が必要で、オンラインツールを使い慣れていない正会員のフォローや、オンライン特有のトラブルへの対応が必要です。



オンライン会議に役立つ書籍も貸し出しています。

※上記の①に記載しているように、まずは団体の定款を確認し会議の開催方法について知っておく必要があります。今後のために定款の変更を実施する場合は総会での議決は欠かせず、また、内容によっては所轄庁（県）の認証を待たなくてはなりません。NPO 法人にとって総会は定足数を満たした「成立」だけを目指すのではなく、参加者同士の意見交換、納得した合意を取れる環境を整える必要があります。オンライン環境の整備についての相談等ございましたら紹介も可能です。

また、現在実施中の『コロナ対応市民活動相談 2021（専門員による相談事業）』では、様々な分野で活躍されているエキスパートが皆さまの課題や疑問、難問を解決する糸口を見つけてくれるかもしれません。どうぞご利用ください！



コロナ対応 まちづくり協働力アップ事業 市民活動専門相談 2021

市民活動支援センター
那覇市公式サイト

コロナ対応 市民活動相談2021実施!

多様な分野の専門相談員が対応いたします。

無料相談

- ◆ 期 間 ◆ ～12月24日（土日祝日除く）
- ◆ 対 象 ◆ ・市内のNPO・市民活動団体、自治会、小学校区まちづくり協議会、市民活動を行いたい市民等
・所在地や活動拠点は市外だが、市民を対象とした活動を行う市民活動団体
- ◆ 実施方法 ◆ オンライン（ZOOM）※要予約
- ◆ 申込方法 ◆ なは市民活動応援サイト相談事業ページ内の入力フォーム、またはお電話で申込みください。
- ◆ 実施機関 ◆ NPO 法人まちなか研究所わくわく 861-1469



なは市民活動支援センターは、公式ホームページ、SNS で情報発信しております！



なは市民活動支援センター
那覇市公式サイト



なは市民活動支援センター
フェイスブック



なは市民活動支援センター
LINE



なは市民活動応援
サイト

当センターに来館頂く際は、感染症対策を充分に取り、発熱時や倦怠感のある方の来館をお控えくださいますようお願いいたします。





助成金等情報



住友生命保険相互会社 / 第15回未来を強くする子育てプロジェクト

募集期間：2021年9月10日（金）必着

内容：①大賞 100万円 ②上限 200万円（100万円×2年間）

- 助成対象：①子育て支援活動の表彰（地域において子育て環境づくりに取り組む団体や個人）
- ・スミセイ未来大賞 2組程度（表彰盾、副賞 100万円）うち、文部科学大臣賞 1組、厚生労働大臣賞 1組
 - ・スミセイ未来賞 10組程度（表彰盾、副賞 50万円）
- ②女性研究者への支援（子育てと人文・社会科学分野の研究活動の両立に努力されている女性研究者）
- ・助成金として1年間に100万円（上限）を2年間まで支給（10組程度）

【お問合せ】未来を強くする子育てプロジェクト事務局 TEL:03-3265-2283

URL:https://www.sumitomolife.co.jp/about/csr/community/mirai_child/

公益社団法人日本フィランソロピー協会 / TOYOTIRE グループ環境保護基金

募集期間：2021年9月30日（木）当日消印有効

内容：上限 150万円

- 助成対象：公益に資する環境保護・環境保全関連の事業活動、計画をしている非営利団体
- ・里山、森林、緑化整備事業運動 ・生態系保護活動 ・水、下線環境保全活動 ・地域環境整備活動
 - ・リサイクル活動 ・環境教育、体験学習活動 ・啓発活動、イベント活動 ・研究、開発活動 ・その他
 - ・営利を目的とせず、1年以上の活動実績を持つ団体

【お問合せ】公益社団法人日本フィランソロピー協会「TOYOTIRE グループ環境保護基金」事務局

TEL:03-5208-7580 URL:<https://www.philanthropy.or.jp/toyotires/>

※最新の情報や詳細は、各お問合せ先の応募要項を必ずご確認ください。



感染症拡大予防ガイドラインにより、収容人数は表示人数の概ね半分程度とされています

会議室 料金一覧表

	定員	室料	クーラー
会議室①			
会議室②			
会議室③			
会議室④			
会議室⑤	15人	¥200/1h	¥100/1h
会議室⑥	15人	¥200/1h	¥100/1h
会議室⑦	12人	¥200/1h	¥100/1h
会議室⑧	24人	¥250/1h	¥100/1h
研修室①（和室）			
研修室②			

会議室①～④、研修室①、②は、現在、ご予約いただけません。ご了承ください。

会議室①～④、研修室①、②は、現在、ご予約いただけません。ご了承ください。

☆基本料金	
最初の1時間まで	300円
最初の1時間を超え30分ごとに	100円
☆市民活動目的の場合（減額適用）	
最初の2時間まで	100円
最初の2時間を超え1時間ごとに	100円

2020年3月より、なは市民協働プラザの駐車場は有料となりました。

お問合わせ なは市民活動支援センター
〒900-0004



那覇市銘苅 2-3-1 なは市民協働プラザ2階
TEL:098-861-5024 / FAX:098-861-5029
メール:C-KATU005@city.naha.lg.jp

印刷機 使用料

白黒・A3サイズ以下	¥1/枚
カラー・A3サイズ以下	¥4/枚

※内容確認のため、原則として印刷物の一部提出をお願いしております。
※印刷用の用紙もお持ちください。
※USB等のメディアからは直接印刷はできません。

